

# 北海道での比例議席奪還ならず

10月31日投開票で、総選挙がたたかわれました。

結果は、自民党は議席を減らしましたが、公明党と合わせて

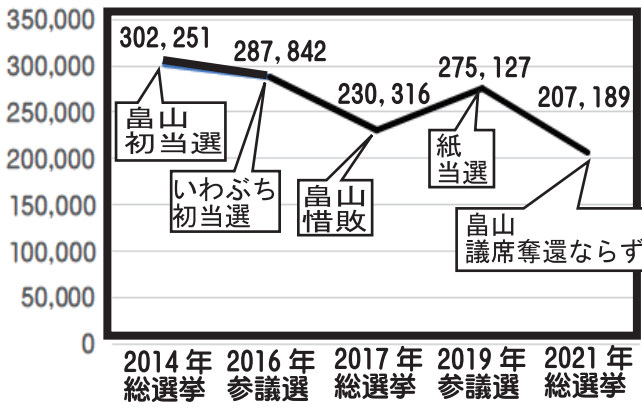
293議席を占め、岸田内閣の継続が決まりました。一方、野党共闘による政権交代を訴えた

日本共産党は、全国的には現有議席を2議席後退させ、北海道での比例議席の奪還も果たすこ

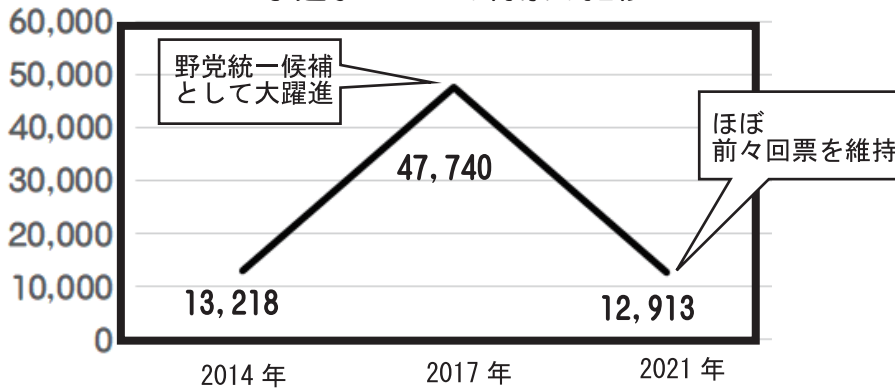
とはできませんでした。

選挙戦を経て、村上かずしげ議員が談話を発表しましたので紹介します。

北海道の国政選挙での比例票の推移



小選挙区7区の得票の推移



今回の総選挙にあたり、多くの後援会員、支持者の皆さんに大変なお力添えをいただき、本当にありがとうございます。また、昼夜を分かたず大奮闘いただいた党員の皆さんにも、心からお礼を申し上げます。

そうしたみなさんの期待やご支援にこたえる結果を出すことができず、心からお詫び申し上げます。とりわけ、道党組織の悲願である「島山和也さんを比例で再び国会へ戻す」ことができず、7区選对本部長として、大きな責任を感じています。

今回の総選挙は、共産党が初めて他の野党のみなさんと協力して「政権交代」を掲げて闘った選挙でした。まだまだ、私たちのたかひに未熟さがあったことは間違いありません。野党連合政権の魅力や可能性を、国民に十分納得していただくには、私たちの力は不足していることを痛感しました。

また、小選挙区では石川明美候補が積極果敢に闘っていただきましたが、立憲民主党との協議の結果とは言え、野党統一候補の擁立に至らず、自民党候補の当選を許してしまったことも、根本的には私たちの力不足が大きな要因です。

今回の選挙戦の結果を真摯に反省し、来年の参議院選挙に向けて、野党共闘の前進と日本共産党の躍進をめざして全力をつくす決意です。

日本共産党 村上かずしげ